_	125		フ	アクショ	<u>ンプラン全体</u>	<u> 本計画 (平月</u>	<u> </u>	<u>F度)</u>		
	推進	項目	_	他の財源				重要度	Α	
番	号∙取約	且事業名	24001	未利用均	也の売却及び有償	賞貸付の推進	作成日 H25	.4.1 更新日	H26.3.31	
	担当	部署	030300	総務部	資産管理課		責任者 吉田	克夫 担当者	資産管理担当	
	取組:		H23	~	H27		· 			
	効:	果		.増加						
	最終		め, 売劫			が無くなり未利用ては有償貸付等を	を進める。	のについて,積極	∞的に売却を進	
	年	芟	区分	A			内容・目標			
	平成2	3年度	計画ど おり			こより未利用地とた 問題の解決を図				
	平成24	4年度	計画ど おり	ど 計画どおりの売却に向けた取組みを行った。しかしながら、公募者がなかったことから今後は、価格の見直しが必要なほか、イメージの回復に時間を要する。						
	平成2	5年度	実施			こより未利用地とな 問題の解決を図				
	平成26	6年度	実施			こより未利用地とな 問題の解決を図				
	平成2	7年度	完了			こより未利用地とな 問題の解決を図				
		指標名	未利用:	地の売却	額			単位	千円	
ьt.	果指標	年度	平成2	23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
130.	不1口1不	計画値		250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	450,000	
		実績値		283,591	549	84,860			369,000	
	歳入	計画額		250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	450,000	
	増加	実績額		283,591	549	84,860			369,000	
	歳出	計画額							0	
	削減	実績額							0	
効	計	計画額		250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	450,000	
効果額		実績額		283,591	549	84,860	0	0	369,000	
額	見込 その	まれる 他効果 <b>頁以外</b> )								

アクションプラン(平成25年度) H25 推進項目 24 その他の財源確保 重要度 番号:取組事業名 24001 未利用地の売却及び有償貸付の推進 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 担当者 資産管理担当 担当部署 030300 総務部 資産管理課 吉田 克夫 責任者 区分 取組内容·目標 全庁的な未利用地調査により未利用地となった土地について, 積極的に売却する。 売却に問題のあるものは問題の解決を図り売却及び有償貸付等を検討する。 平成25年度 実施 10~12 4~6月 7~9月 1~3月 取組項目 1 未利用地調査 0 2 未利用地の転活用調査 0 3 未利用地の売却候補地の選定 0 4 早期に売却できない未利用地の売却、貸付、継続保有の区分けの検討 0 5 売却の実施 0 0 6 早期に売却できない未利用地売却の解決策の検討 0 0 7 売却に適さないもの等の貸付の検討  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 8 9 10 進捗 •7月に公有財産(土地)管理運用検討会を開催し、今年度売却地 進捗状況 計画どおり コメント を選定後、11月から一般競争入札方式で売却募集を行う予定。 進

	期										
έŧ	歩・身	<b>尾</b> 績									
		成果指標名	未利用地の売却	額		計画値	<u>単位</u> 50,	千円 000	実績値	<u>単位</u> 84,	千円 860
		達成状況 【成果】	達成	コメント	昨年度からの継 今年度一般競争 1円)を売却した 25年度継続物化	·入札物作 。	牛2件(1	7, 050	, 000円	, 19, 1	00, 00
	年度末	進捗状況 【活動】	計画どおり	1	25年度継続物件1件(16, 810, 000円)の売却手続き中である。 引き続き,売却可能な物件を積極的に売却を行い,売却ができない物件については有償貸付等を検討していく。						
		計画変更 (次年度	取組内容	無	コメント	売却可能物件を精査し, 平成26年度。				■度と平月	成27年
		以後)	計画値	有		度の計画値を変更した。			1,221,221		
		評価者	石黒 博	※重要	度A事業は副市县	,重要原	<b>EB事業</b>	は部局長	を評価さ	者とする	
	評価	総合評価 (A·B·C)	В	コメント		売却可	能な物件	ここついて	ては早期	に処分し	ていくこ
14		方向性	継続実施	指示事項	と。	,売却可能な物件については早期に処分					

J⊢	125		ア	<u> </u>	<u> ンプラン全体</u>	本計画 (平)	成23~27 <sup>⊴</sup>	<b>年度)</b>					
	推進			他の財源				重要度	В				
番		且事業名	24002	自動販	売機設置の価格競	競争方式の導入		5.4.1 更新日	H26.3.31				
	担当		030300	総務部	資産管理課		責任者 重田	恭義   担当者	資産管理担当				
	取組:		H23	~	H27								
	効:	果		増加									
	最終目標		方式に。		道している自動則 業者選定を行う。			兄を検討し,可能な	は限り価格競争				
	年.	芟	区分		取組内容・目標								
	平成2	3年度	進んで いる	価格競	西格競争方式導入の可能な物件を選出し実施した。								
	平成24	4年度	計画ど おり	予定実施	ア定実施施設について価格競争方式を実施した。(一部取り止めあり)								
	平成2	5年度	実施	前年実施	施の実績を踏まえ	随時実施する。							
	平成20	6年度	実施	前年実施	施の実績を踏まえ	随時実施する。							
	平成2	7年度	完了	前年実施	施の実績を踏まえ	随時実施する。							
		指標名	自動販	売機入札	,導入台数			単位	台				
ᆎ	果指標	年度	平成2	3年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値				
130.	不口口不	計画値			10	20	20	20	70				
		実績値		29	5	16			34				
	歳入	計画額			17,100	1,853	7,000	7,000	32,953				
	増加	実績額			17,100	1,853			18,953				
	歳出	計画額							0				
	削減	実績額							0				
劾	計	計画額		0	17,100	1,853	7,000	7,000	32,953				
果額	見込 その	実績額 まれる 他効果 頁以外)		0	17,100	1,853		0	18,953				

アクションプラン(平成25年度) H25 推進項目 24 その他の財源確保 重要度 В 番号:取組事業名 24002 | 自動販売機設置の価格競争方式の導入 | 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 担当者 資産管理担当 担当部署 重田恭義 030300 総務部 資産管理課 責任者 区分 取組内容·目標 前年実施の実績を踏まえ随時実施する。 平成25年度 実施 10~12 1~3月 4~6月 7~9月 取組項目 1 関係機関との調整 0 2 価格競争導入物件の選定等 0 3 導入物件の現設置者への周知 0 4 価格競争方式の実施 0 6 8 9 10 進捗 市有施設に設置する自動販売機の公募方式移行に伴い、来年度 半 計画どおり 進捗状況 コメント 実施予定の施設管理者に対し、9月に説明会を実施した。 期 進捗·実績 単位 単位 台 成果指標名自動販売機入札導入台数 計画値 実績値 20 16 達成状況 一部達成 数値目標には達しなかったものの、概ね計画どおり移行が行われ 【成果】 ている。 コメント (沼南庁舎, 北部クリーンセンター, 南部クリーンセンター, いきいき プラザ、沼南公民館、青少年センター、柏地域医療連携センター、 年 進捗状況 地域福祉センターなど16台を実施した。) 計画どおり 度 【活動】 末 無 取組内容 計画変更 (次年度 コメント 特になし 以後) 無 計画値

	評価者	鬼澤 徹雄	※重要	度A事業は副市县	長, 重要度B事業は部局長を評価者とする
評価	総合評価 (A·B·C)	В	コメント	概ね計画どおり	達成でき, 財源確保に繋がったと思う。今後も他の
и	方向性	継続実施	指示事項	施設への導入に	向けて,協議,調整を進めてください。

L	125		ア	<b>アクショ</b>	ンプラン全位	本計画(平)	成23~27 <u></u>	<u> </u>			
	推進		24 その	他の財源	原確保			重要度	В		
番	号∙取約	且事業名	24004	北部地域σ	)まちづくりパンフレットへ	への広告掲載料の確保	作成日 H2	5.4.1 更新日	H26.3.31		
	担当		140500	都市部	北部整備課		責任者 君島	昭一 担当者	事業推進担当		
	取組:		H23	~	H27			· 			
	効:	果		増加							
	最終		による中	域のまち 又入を確(				<b>『企業の広告を掲</b>	載し、広告事業		
	年	艾	区分		h = 1.1 % 4.1 0.		且内容·目標 	III.			
	平成2	3年度	計画ど おり								
	平成24	4年度	進んで いる								
	平成2	5年度	実施	北部地均	或のまちづくりパン	ノフレット広告掲載	<b>裁料 10,000円(1</b>	枠)×10件=100,0	000円		
	平成26	6年度	実施	北部地址	或のまちづくりパン	ノフレット広告掲載	战料 10,000円(1	枠)×10件=100,0	000円		
	平成2	7年度	完了	北部地均	或のまちづくりパン	ノフレット広告掲 <b>載</b>	<b>裁料 10,000円(1</b>	枠)×10件=100,0	000円		
		指標名	広告掲					単位	千円		
6.	果指標	年度	平成2	23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値		
150.	W10 IV	計画値		100	100	100	100	100	100		
		実績値		100	120	0					
	歳入	計画額		100	100	100	100	100	500		
	増加	実績額		100	120	0			220		
	歳出	計画額							0		
	削減	実績額							0		
効	計	計画額		100	100	100	100	i e	500		
果額	果   実績部			100	120	0	0	0	220		
	その他効果 (金額以外)										

アクションプラン(平成25年度) H25 重要度 推進項目 24 その他の財源確保 В 番号:取組事業名 24004 北部地域のまちづくりパンフレットへの広告掲載料の確保 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 事業推進担当 担当部署 140500 都市部 北部整備課 責任者 君島昭· 担当者 区分 取組内容•目標 北部地域のまちづくりパンフレット広告掲載料 10,000円(1枠)×10件=100,000円 平成25年度 実施 10~12 取組項目 4~6月 7~9月 1~3月 1 広告主募集 0 0 2 広告掲載契約の締結 0 0 3 広告掲載料収入通知書の送付 0 0 4 パンフレット印刷 0 0 6 8 9 10 進捗 柏北部東地区土地区画整理事業の大幅な事業計画の変更が3 月末に行われることが, ほぼ決定していることにより, 当該パンフ レットもそれに併せて修正が必要になる。 \* 進捗状況 その他 コメント 3月末の事業計画変更に併せた、パンフレットの作成は、委託 や、広告主との契約及び支払い等の期間等を考えると、時間的に 期 平成25年度の完結が困難であるため、今年度はパンフレットの作 成は見送り、来年度当初に作成できるよう調整している。 進捗・実績 千円 単位 単位 | 千円 成果指標名 広告掲載料 計画値 実績値 100 0 達成状況 当初,3月末に予定されていた柏北部東地区土地区画整理事業 その他 【成果】 の事業計画変更が、手続きの関係から、来年度に見送られること が決定したため、当初にコメントしたとおり、今年度のパンフレット コメント の作成は見送った。 来年度、事業計画変更が決定次第、速やかにパンフレット作成作 年 進捗状況 その他 業及び広告掲載料の確保を行うこととする。 度 【活動】 末 取組内容 無 計画変更 (次年度 コメント 以後) 計画値 無 評価者 吉川 正昭 ※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする

 評
 総合評価 (A・B・C) (A-B・C) (A-B-C) (A-B-C)

次年度は事業確定後、速やかにパンフレットの作成に取り掛かること。また、広告収入に関しては計画的に充当できるよう心掛けること。

F	125		ア	アクショ	<u>ンプラン全体</u>	<u> 本計画 (平月</u>	<u> </u>	<u>F度)</u>			
	推進	項目	24 その	他の財源	確保			重要度	В		
番		且事業名			<b>勿の実態調査による申</b>	請指導と適切な許可	作成日 H25	20.07.	H26.3.31		
	担当		120100	土木部	直路維持管理課		責任者 後藤	清 担当者	管理担当		
	取組		H23	~	H27						
	効:	果		増加		- / / 15 / 15 / 15					
	最終		請指導			F可申請手数料 <i>の</i>		例について, 実態	調査に基づく甲		
	年	<u></u>	区分			取 稅	l内容·目標				
	平成2	3年度	遅れて いる	1000   10   10   10   10   10   10							
	平成24	4年度	遅れて いる	更新許可申請受付時に、申請漏れ物件について申請催促を実施した。							
	平成2	5年度	実施	無許可特	<b>勿件に対して申請</b>	指導の実施、許可	可手数料 対平成	22年度決算額5	5%増		
	平成20	6年度	実施	無許可特	<b>勿件に対して申請</b>	指導の実施、許可	可手数料 対平成	23年度決算額5	5%増		
	平成2	7年度	完了	無許可特	<b>勿件に対して申請</b>	指導の実施、許可	可手数料 対平成		5%増		
		指標名		告物許可				単位	千円		
成	果指標	年度	平成2	23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値		
150.	N 10 IV	計画値		5,157	6,430	4,695	5,414	6,751	6,751		
		実績値		4,806	6,633	6,027					
	歳入	計画額		245	306	285	257	321	1,414		
	増加	実績額		0	376	1,369			1,745		
	歳出 削減	計画額							0		
	円11/10人	実績額		0.45	222	205	057	004	0		
効	計	計画額		245	306	285	257	321	1,414		
効果額	見込 その	実績額 まれる 他効果 頁以外)		0	376	1,369	0	0	1,745		

アクションプラン(平成25年度) H25 推進項目 24 その他の財源確保 重要度 В 番号:取組事業名 24005 屋外広告物の実態調査による申請指導と適切な許可 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 担当部署 管理担当 120100 土木部道路維持管理課 責任者 後藤 清 担当者 区分 取組内容•目標 無許可物件に対して申請指導の実施,許可手数料 対平成22年度決算額5%増 平成25年度 実施 10~12 取組項目 4~6月 7~9月 1~3月 1 是正指導方針の確定 0 0 0 2 申請指導の実施  $\circ$  $\circ$  $\circ$ 0 3 4 5 6 8 9 10 進捗 指導対象が約2万件以上と膨大なため、違反屋外広告物の掲出 状況を考慮し複数回に分けて長期的な是正指導を行っていく。 半 計画どおり 進捗状況 コメント そこで指導対象物件の中で未申請の許可基準適合物件(6951 期 件)の所有者又は管理者を絞ったので、申請促進指導通知の準備 が出来次第発送する。 進捗・実績 単位 十円 単位 | 千円 成果指標名 屋外広告物許可手数料 計画値 実績値 4.695 6.027 達成状況 更新許可申請受付時に、申請漏れ物件について申請催促を実 達成 【成果】 施。 ・未申請の許可基準適合物件の所有者又は管理者へ申請催告の コメント 通知文を送付。 柏市屋外広告物条例について、認識がなく、許可が必要であるこ 年 進捗状況 計画どおり とを知らない所有者や管理者が多いため、今後、条例の周知を図 度 【活動】 る。 末 無 取組内容 計画変更 (次年度 コメント 以後) 計画値 無 評価者 石井 健三 ※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする

## 部 (A・B・C) B 現状の改善については事業促進が図られるよう進めること。一方, 新規違反物件を出さないことが重要であり, 効果的な方策や仕組みの検討が必要である。

L	125		ナ	クショ	ンプラン全位	本計画 (半)	<u> </u>	·27£	<u>F度)                                    </u>			
	推進	項目	24 その	他の財源	原確保				重	要度	В	
番	号∙取約	且事業名	24008	水洗化	の普及		作成日	H25	.4.1 更新	新日	H26.3.31	
	担当	部署	120900	土木部	下水道維持管理	課	責任者	須藤	実 担	当者	水洗普及担当	
	取組:	年度	H23	~	H27				•			
	効:	果		増加	その他改善							
最終目標			を行い ・もって <sup>-</sup>	,下水道			標とする。		00件)におし	て水	洗化晋及活動	
	年	<u> </u>	区分			取約	且内容・日本	票				
	平成23	3年度	遅れて いる	普及員の	の戸別訪問による	普及活動を行っ	たが、目標	には到	達しなかった	た(1:	25件)。	
	平成24	4年度	遅れて いる	普及員の	音及員の戸別訪問による普及活動を行ったが,目標には到達しなかった(154件)。							
	平成2	5年度	実施	水洗化剂	普及活動により,	下水道への切換	促進(200	件)。				
	平成26	6年度	実施	水洗化	普及活動により,	下水道への切換	促進(200	件)。				
	平成2	7年度	完了	水洗化	普及活動により,	下水道への切換	促進(200	件)。				
		指標名	下水道	への切換	え				単位		件	
<del>_ ;</del>	果指標	年度	平成2	:3年度	平成24年度	平成25年度	平成26	年度	平成27年	度	最終値	
八人	木田伝	計画値		200	200	200		200		200	1,000	
		実績値		127	141	186						
	歳入	計画額		2,300	5,000	7,700		10,320	12	,940	38,260	
	増加	実績額		1,459	3,361	5,870					10,690	
	歳出	計画額									0	
	削減	実績額									0	
効	勃 計 割画額			2,300	5,000	7,700		10,320	12	,940	38,260	
果	ПΙ	実績額		1,459		5,870		0		0	10,690	
果		・公衆衛 向上 ・公共用 の水質	]水域	・公衆衛生の 向上 ・公共用水域 の水質保全	・公衆衛生の 向上 ・公共用水域 の水質保全	・公衆衛生 向上 ・公共用7 の水質(	k域	・公衆衛生の 向上 ・公共用水均 の水質保金	或			

アクションプラン(平成25年度) H25 推進項目 24 その他の財源確保 重要度 В 番号:取組事業名 24008 水洗化の普及 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 水洗普及担当 担当部署 120900 土木部 下水道維持管理課 須藤 実 担当者 責任者 取組内容•目標 区分 水洗化普及活動により、下水道への切換促進(200件)。 平成25年度 実施 10**~**12 4~6月 7~9月 取組項目 1~3月 1 戸別訪問による水洗化普及活動を行い、下水道への切換え件数増加をめざす。 0 0 0 0 2 集合賃貸住宅のオーナーへの普及活動を強化する。 0  $\circ$ 0 0 4 5 6 8 9 10 進捗 25年度の計画値200件に対し、上半期の実績値は109件であ 半 計画どおり 進捗状況 コメント り、計画どおり進んでいる。下半期も継続して水洗化普及活動を 期 行っていく。 進捗·実績 単位 単位 件 成果指標名下水道への切換え 計画値 実績値 200 186 達成状況 未達成 25年度の実績値について、前年度と比較すると増加しているが、 【成果】 計画値の200件には達していない。ただし、今年度末に柏市外在 コメント 住の賃貸住宅所有者へ、普及活動強化の一環として通知文を送 付した。結果が出始めるのは数ヶ月後であり、今後も継続して積極 年 進捗状況 的な普及活動を行っていくことで接続の促進を行う。 遅れている 度 【活動】 末 無 取組内容 計画変更 (次年度 コメント 以後) 計画値 無

	評価者	石井 健三	※重要	度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする
評価	総合評価 (A·B·C)	В		引き続き、きめ細かな対応を期待するとともに、費用と効果を検証
1	方向性	継続実施	指示事項	すること。

	125		<u> </u>	ソンコ	ノノフノ王	平計画 (千)	<u> </u>	干戌/				
	推進	項目	_	他の財源				重要度	А			
番	号∙取約	且事業名	24017	本庁舎原	<b>周辺の駐車場の</b>	有料化	作成日 H25	5.4.1 更新日	H26.3.31			
	担当	部署	030300	総務部	資産管理課		責任者 吉田	克夫 担当者	庁舎管理担当			
	取組		H25	~	H25							
	効:	果		増加	歳出削減							
	最終		るため, 図書館 現在は, より駐車	本庁舎居 との連携 駐車場	ヨ辺の駐車場につ を図り駐車場のる 整理員に要する系 員の経費が削減	わせ, 懸案となっ ついて, 施設管理 5 料化を実施する 圣費がかかってい できるほか, 貸付	者である資産管理 。 るが、行政財産の 収入も見込まれる	里課を中心とし, 「 の貸付による駐車	中央公民館及び 国場の有料化に			
	年	芰	区分			取糸	且内容・目標					
	平成2	3年度										
	平成24	1年度										
	平成2	5年度	完了 (事業終了)	平成26	年1月20日, 駐	車場の有料化を見	包含した。					
	平成26	6年度										
	平成2	7年度										
		指標名	経費の	削減効果	:			単位	千円			
랎	果指標	年度	平成2	3年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値			
130.	木111示	計画値				9,000	9,000	9,000	9,000			
		実績値				1,906			1,906			
	歳入	計画額				1,000	1,000	1,000	3,000			
	増加	実績額				514			514			
	歳出	計画額				8,000	8,000	8,000	24,000			
	削減	実績額				1,392			1,392			
効	計	計画額		0	0	9,000	9,000	9,000	27,000			
果		実績額				1,906		E) = 15 - 15 -	1,906			
<b>果</b> 額	見込 その	まれる 他効果 負以外)					管理, 受益者負	駐車場の適正 管理, 受益者負 担の考え方の 実現				

アクションプラン(平成25年度) H25 推進項目 24 その他の財源確保 重要度 Α 番号:取組事業名 24017 本庁舎周辺の駐車場の有料化 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 担当部署 担当者 广舎管理担当 030300 総務部 資産管理課 責任者 吉田 克夫 区分 取組内容•目標 <sub>完了</sub> 本厅舎周辺の町子のいる。 (事業終了) 場の有料化と資産の有効活用を図る。 |本庁舎周辺の駐車場の有料化に向け、関係部署と調整した上、行政財産の貸付により駐車 平成25年度 10~12 1~3月 取組項目 4~6月 7~9月 1 有料化に向けた関係部署の調整 0 2 設置仕様書の確定, 市民への周知, 業者選定 0 3 機械の設置, 有料駐車場の稼動開始 0 5 6 8 9 10 進捗 当初計画では、10月からの本稼動を予定してたが関係機関との 半 進捗状況 遅れている コメント 調整等に時間がかかったため、現在は、1月20日からの本稼動に 期 向け準備を進めている。 進捗・実績 単位 | 千円 単位 | 千円 成果指標名経費の削減効果 計画値 実績値 9 000 1.906 達成 達成状況 (効果次年 【成果】 度) 当初予定の10月には、事業を完了できなかったが、無料仮稼動期 コメント 間を経て、平成26年1月20日より有料化を完了した。 次年度以降も、引き続き、事業の円滑な運用と改善を進めていく。 年 完了 進捗状況 度 【活動】 (事業終了) 末 取組内容 無 計画変更 (次年度 コメント 以後) 無 計画値 評価者 石黒 博 ※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする 総合評価

Α

継続実施

コメント

指示事項

利用者の意見や実施状況を踏まえて、必要な改善を適宜行うこと

評

価

(A•B•C)

方向性

	125		<u> </u>	<u> クショ</u>									
	推進	項目	24 その	他の財源	確保						重要度	В	
番	号∙取約	且事業名	24018	安心こど	も基金を活用	した私	ム立保育園の整備	作成日	H25	5.4.1	更新日	H26.3.3	31
	担当		070800	こども部	保育課			責任者	秋山	享克	担当者	高坂 十	-郎
	取組:		H25	~	H26								
	効:	果		増加									
	最終		で至って 活用して	こいない。	そのため,	補助	か保育園の整備を 基準額が高く, 自 テうことで, 待機り	治体の財 記童の解	·政負担: 肖を目指	が軽減さ			
	年	<b></b>	区分				取約	且内容・目	標				
	平成23	3年度											
	平成24	4年度											
	平成2	5年度	実施	安心こと す。	も基金を活	用して	て私立認可保育園	園の整備	(5園)を	行い, 待	∲機児童 <i>0</i>	の解消を目	指
	平成26	6年度	完了	安心こと す。	も基金を活	用して	て私立認可保育園	園の整備	(5園)を	行い, 待	∲機児童 <i>0</i>	の解消を目	指
	平成2	7年度											
		指標名	次年度(	の認可保	育園総定員	数				単	位	人	
타	果指標	年度	平成2	:3年度	平成24年	度	平成25年度	平成2	6年度	平成2	27年度	最終個	直
130.	木1日1示	計画値		4,467	,	4,737	5,082		5,550	未定		未定	
		実績値					5,100						0
	歳入	計画額					私立保育園の整	備にあたっ	っては、				0
	増加	実績額					以前から安心こと	ども基金を	活用。				0
	歳出	計画額					当基金を活用する		り,市				0
	削減	実績額					□の負担額が軽減 □※従来から活用し		か効				0
効	効 計 計画額			0		0	果額は計上しない		<u>, 201</u> <u>D</u>		0		0
		実績額	48454	土 採 1 日	<b>▲日1□ 往</b> ₩	<b>越</b> 1日			土地口	<b>原安国</b>	<b>注   総   口</b>		0
額	果		4月1日1 童141人		4月1日待機 童133人	<b>芝</b> 児	4月1日待機児 童117人	4月1日作 童39人	<b>守</b> 俊兄	保育園 童の減 0人)	待機光 (4月1日		

アクションプラン(平成25年度) H25 重要度 推進項目 24 その他の財源確保 В 番号:取組事業名 24018 安心こども基金を活用した私立保育園の整備 作成日 H25.4.1 更新日 H26.3.31 担当部署 070800 こども部 保育課 責任者 秋山 享克 担当者 高坂 十郎 区分 取組内容•目標 安心こども基金を活用して私立認可保育園の整備(5園)を行い、待機児童の解消を目指 平成25年度 実施 す。 10~12 取組項目 4~6月 7~9月 1~3月 1 整備事業者との調整 0 0 0 0 2 安心こども基金交付申請事務 0  $\circ$ 0 0 3 補助金手続き事務 0 0 4 次年度整備事業者選定 0 0 6 8 9 10 進捗 整備予定5園の内, 4園は平成26年4月, 1園は平成26年度中の開 半 進んでいる 進捗状況 コメント 園に向けて調整している。 期 平成26年度整備事業者の選定については予定通り。 進捗・実績 単位 単位 成果指標名次年度の認可保育園総定員数 計画値 実績値 5.082 5.100 達成状況 達成 【成果】 予定通り4園が平成26年4月に開園予定のほか、新たに既存園 の分園1園が開園予定。また、駅前認証保育施設2園が平成26年 コメント 4月に認可化移行予定のため、合計7園の開園が予定されてい る。 年 進捗状況 計画どおり 度 【活動】 末 取組内容 無 計画変更 (次年度 コメント 以後) 計画値 無 秋山 享克 評価者 ※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする 総合評価 年度途中開園予定の1園を除く6園が4月に予定どおり開園。平成 Α 評

26年4月1日現在の国基準待機児童数が39人と前年比67%減

また、平成27年度からは実待機児童をゼロにする「子ども子育て

支援事業計画」に基づき積極的に取り組むよう指示した。

となり、目標を十分に達成した。

(A•B•C)

方向性

継続実施

価

コメント

指示事項